

大相撲の魅力を世界へ届けよう！ 大阪・関西万博を記念した歴史的巡業が実現



令和七年夏巡業
大相撲大阪・関西万博場所

【開催日】
8月3日(日)

巡業内容

9:00 開場
～力士公開稽古
力士と子供たちによる稽古など

12:00～ 幕下以下 取組

12:45～ お好み
・相撲甚句・初切
・太鼓打分・横綱網締め

13:30 横綱・幕内土俵入り、
記念セレモニー

14:00 幕内取組

15:00 弓取り式、打ち出し
(終了予定)

※スケジュール・出場力士は事情により
変更になる場合がございます。



スポーツと伝統が融合した至高の競技であり、その独特の世界観が国内のみならず海外の多くのファンをも魅了してやまない国技大相撲。そのような「大相撲」が、このたび「いのち輝く未来社会のステージ」である大阪・関西万博会場にて、大阪・関西万博場所を行なうことが決定いたしました。

折しも万博イヤーである2025年は、日本相撲協会設立百周年の記念イヤーでもあります。記念すべき場所である大阪・関西万博会場から、記念すべき年に、国内外の大相撲ファンに大相撲の魅力を余すことなく伝えるべく当代の横綱三役揃い踏みの一大巡業を行います。

同時に、万博のテーマも踏まえて、次世代を担う子どもたちのために、こどもたちと力士の触れ合いや力士によるこどもたちへの稽古など、通常の巡業の枠を超えたプログラムを実施予定です。
何卒趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本場所では見られなり、楽しむ企画が盛りだくさん！

初切

大相撲の禁じ手を察し、初切(ひょうきり)に注目！

相撲の禁じ手を面白おかしく紹介する見世物です。以前は相撲の取組の前に、決まり手四十手や禁じ手を紹介するために行われていました。
大量の塩をまいたり、まるでコントのように相手とからんだり、ユニークな動きで子供も大人も楽しめるイベントです。

相撲甚句

力士がうたう、相撲甚句は巡業ならではのイベント！

土俵上で力士が披露する余興の唄のことです。江戸時代の末から続く七五調の独特な語り口が魅力の囃子歌です。土俵上で力士数人が輪になり、輪の中央の力士が独唱します。周囲の力士たちは手拍子と共に、「どすこい、はい、あーどすこいどすこい」といったような合の手を入れます。



樽太鼓打分

「名人呼出し 太郎」が
お好みとして披露をはじめた演目。

■寄せ太鼓
相撲協会の前身相撲会所の時代、相談事があつた時親方衆を呼び寄せる時の合図。
■番太鼓
天下泰平五穀豊穡を祈って行われていました。清めの太鼓と言われ、昔は真夜中の二時か三時に打たれていました。

■はね太鼓
相撲が終わると同時に打たれた皆様に向かい「きげんようお帰りください。また明日もおいでをお待ちしています。」と打たれています。従って日興行や千秋楽では打たれていません。



髪結実演

床山が大銀杏を結う様子を
実演します。

十枚目以上の力士が結うことのできる大銀杏。
頭頂部に乗った鬘のはけ先がイチヨウの葉の形に似ていることからこの名で呼ばれます。
床山が大銀杏を結う技術を習得するには十年以上かかると言われています。



公開稽古

力士の鍛錬の様子を
目の当たりにできます

早朝から幕下以下、十両、幕内、大関、横綱の力士が激しい稽古に臨みます。日頃は部屋ごとに稽古している力士たち。多くの部屋の力士が、堂に稽古するのは、巡業ならではの風景です。



こども稽古

こども力士と人気力士による
稽古披露！

巡業の中でも特に評判のいいこどもと力士による稽古。
大きなお相撲さんにおつかいいく子供たちの姿は、遅くも微笑ましく会場全体が暖かい雰囲気になります。外国の子供たちの参加も募り、万博らしい国際色のあるこども稽古披露を行います。



取組

最大の見所を間近で
白熱の取組は必見

やはり巡業最大の見所は取組です。テレビでおなじみの力士達が登場し、熱戦が繰り広げられます。特に相撲道を極めた幕内力士達の取組は見逃せません。結びの一番で盛り上がりは最高潮に、相撲ファンならずとも必見の迫力です。



大阪・関西万博場所実行委員会事務局

〒530-0011 大阪府北区大深町3番1号 グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル コラボオフィス8階 K817号室 (株式会社リンクステーション内)
電話番号:06-6136-3032(平日10:00～17:00) FAX:050-3644-2901
メールアドレス:ozumo.expo2025@gmail.com

お問い合わせ

オフィシャルHP→

